

ハンドボール

No. 17

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合番号 **函館大学-男2**

年月日 2023 年 7 月 27 日 (木)
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 大分県立大分雄城台高等学校										B 法政大学第二高等学校									
北海道					函館市					函館大学アリーナ					2回戦				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mXO-377スト	A	B					
7m得点/総数		A 2/2		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/5		7m得点/総数							
				1	2	後	3			1	2	後	3						
				2922	1148	2442			2739	1418									
No.	大分雄城台					G	W	2'	D	DR	No.	法政二							
1 c	野尻 祐汰										1	二階堂 恭世							
2	小野 蒼羽					7					2 c	岡本 飛鳥							
3	麻生 士温										3	阿部 純誠							
4	住本 由孝							1			4	瀧川 雄翔							
5	二宮 幸路					8					5	前澤 大輝							
6	佐藤 仁輝					3					6	松本 想							
7	平野 明					2		1			7	山本 樹							
8	市川 舜馬										8	佐藤 敬悠							
9	原野 大聖					2					9	竹中 友哉							
10	渡邊 脩平										10	松尾 進之介							
11	中本 真生					6					11	守屋 勝司							
12	吉良 颯真										12	丸山 兼秀							
13	小野 源生										13	中村 光希							
14	浜田 竜晟										14	平良 響							
監督A	平井 徳尚										監督A	寄 修平							
役員B	広沢 颯										役員B	小寺 勝矢							
役員C	安田 琉之介										役員C	加藤 光流							

A **平井 徳尚** チーム役員A署名 **寄 修平** B

特記事項:

レフェリー	合田 享弘	橋本 賢	合田 享弘	橋本 賢
TD	永春 文義	藤澤 賢治	永春 文義	藤澤 賢治
MO				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告番付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール



Japan Handball Association

記録用紙

ランニングスコア

試合
番号

函館大学-男23

20
19

年月日	2023年 7月 27日 (木)	会場名	函館大学アリーナ
大会名	令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会		

A	大分県立大分雄城台高等学校	28	vs	30	法政大学第二高等学校	B	男子	2回戦
---	---------------	----	----	----	------------	---	----	-----

スローオフ
大分雄城台

15	-	14
13	-	16
-	-	-
-	-	-
-	-	7mTC
-	-	-

No.	大分雄城台	G	W	2'	D	DR
1	c 野尻 祐汰					
2	小野 喬羽	7				
3	麻生 士温					
4	住本 由季		1			
5	二宮 幸路	8				
6	佐藤 仁輝	3				
7	平野 明	2	1			
8	市川 舜馬					
9	原野 大聖	2				
10	渡邊 脩平					
11	中本 真生	6				
12	吉良 颯真					
13	小野 源生					
14	浜田 巻晟					
監督A	平井 徳尚					
役員B	広沢 翼					
役員C	安田 琉之介					

No.	法政二	G	W	2'	D	DR
1	二階堂 恭世					
2	c 岡本 飛鳥	3	1			
3	阿部 純誠	4				
4	瀧川 雄翔					
5	前澤 大輝	1				
6	松本 想	4				
7	山本 樹	3				
8	佐藤 敬悠	3				
9	竹中 友哉	5				
10	松尾 進之介	4				
11	守屋 勝司	1	1			
12	丸山 兼秀					
13	中村 光希	1	1			
14	平良 響	1				
監督A	寄 修平					
役員B	小寺 勝矢					
役員C	加藤 光流					

A				B			
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番	
前 半							
9	1	00	59				
5	2	02	23				
11	3	02	58				
		03	27	1		8	
		04	11	2		9	
		06	47	3		2	
5	4	07	15				
7	S	08	14	x		9	
		09	00	4		10	
		09	54	5		6	
2	5	10	39				
		12	25	6		10	
2	6	12	57				
7	7	15	39				
11	8	17	03				
9	9	17	40				
		18	06	7		7	
		18	41	8		7	
11	10	19	18				
		19	53	9		11	
2	11	21	06				
		22	31		W	13	
		23	38	10		9	
2	12	24	15				
5	O	13	24	48	S	2	
		26	36	11		7	
		27	05	12		8	
6	14	27	28				
		27	39		T		
		27	59	13		2	
		29	11	14		6	
		T	29	22			
2	15	29	55				
後 半							
6	16	01	22				
		02	04	15	O	10	
5	17	02	53				
2	18	03	36				
5	19	04	06				
		04	29	16		3	
11	O	20	04	56	S	11	
		05	47	17	O	10	
		06	22	18		13	
5	21	07	43				
5	22	09	22				
		09	56	19		8	
		11	27	20		6	
		11	48	21		5	
T		11	48				

A				B			
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番	
6	23	12	32				
11	24	13	23				
		14	03	x		10	
		14	18		T		
		14	43	22		14	
		15	39	23		6	
		16	10	24		9	
4	S	17	30	x		9	
		18	20	25		9	
11	25	20	18				
		21	56	26		9	
5	26	23	50				
		24	19	27		3	
T		24	42				
		26	14	28		3	
		26	38	29		2	
7	27	27	10				
2	28	28	43				
		29	47	30		3	
特記事項							

Ref	合田 享弘	橋本 賢
TD	永春 文義	藤澤 賢治
MO		

ハンドボール

1/0/18

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

競技日	2023年7月27日(木)		会場	函館大学	
種別	男子		回戦	2回戦	
チーム名			チーム名		
県立大分雄城台高等学校			法政大学第二高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
28	15	前半	14	30	
	1-3	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

大分代表の雄城台と1回戦で安定したゲーム運びをした法政二高の試合は、雄城台のスローオフでスタート。高いディフェンスラインで守る法政二高に対し、雄城台はやい攻撃展開で攻め込む。先制点は雄城台の⑨原野。続いて⑤二宮と得点するが、法政二高も⑧佐藤⑨竹中と滑り出しは互角の展開。ここからどちらもシュート機会はあるが、両GKの好セーブがあり、一進一退の試合となる。雄城台は大型ピボットの②小野にボールを集め、小野の連続得点とするが、法政二高もキャプテン②岡本の強引なミドルシュートと⑩松尾の速攻で引けを取らない。中盤になり、速いボール回しからカットインが決まり出した法政二高だが、雄城台は②小野のポストシュートによる加点に苦労する。この②小野を守り切れずに法政二高に退場者が出てから雄城台は7mTと⑥佐藤のサイドシュートで引き離しにかかる。食らいつく法政二高は27分にチームタイムアウトから②岡本と⑥松本の速攻が決まり14対14の同点とする。残り40秒で雄城台もチームタイムアウトを取り「しっかりと足を動かしてディフェンスを突破しろ！」と指示が飛び②小野の回り込みシュートで15点目、15対14で前半を折り返した。

後半に入り、雄城台の⑥佐藤とサイドシュート、頼りの②小野のポストで得点。法政二高も⑩松尾の7mT、③阿部の得点で大きく崩れない。しかし、開始5分で雄城台の②小野のポストを守り切れずに再び退場者がでる。しっかりと7mT後も2点追加して22対18の4点差となる。ここで法政二高は、負傷退場していた⑨竹中をコートに戻した。ここから3連続得点で、雄城台がたまたまチームタイムアウト。両チームどちらも最後まで走り勝負の行方は全く分からない展開となったが、残り5分を過ぎてから法政二高はGKを下げて7人攻撃を試みたことで功を奏し、飛ばしパスからのサイドとポストシュートが決まり、30対28で法政二高が逆転勝ちと手にした。

記入者

三浦 力